

# 宮城県感染症発生動向調査情報

令和02年10月15日発行

2020.10.5 ~ 2020.10.11 - 第41週 -

## 1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘	1 0.25	1 0.10	3 0.60					3 0.11	8 0.14	485				
流行性耳下腺炎			1 0.20					3 0.11	4 0.07	103				
感染性胃腸炎	8 2.00	8 0.80	3 0.60	15 7.50	3 1.00			38 1.41	75 1.29	5,210	○	○	○	◎
手足口病								3 0.11	3 0.05	380				
伝染性紅斑								1 0.04	1 0.02	170				
突発性発しん	3 0.75	1 0.10	3 0.60	1 0.50	3 1.00	5 1.00	1 0.50	12 0.44	29 0.50	1,149	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	56				
インフルエンザ									0 0.00	7,748				
咽頭結膜熱	9 2.25		1 0.20					3 0.11	13 0.22	477				
流行性角結膜炎		2 0.67							2 0.17	64				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.75	6 0.60		1 0.50		6 1.20		8 0.30	28 0.48	3,556	レ			○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	1 1.00	5 5.00					8 0.67	203				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症								2 0.07	2 0.03	413				
感染症胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	2				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)							1						
	川崎病													
	不明発疹症							2						

◎:流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○:発生または流行について、今後の情報に留意  
レ:発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙台管内 男性1名(第40週)  
結核(無症状病原体保有者)  
仙南管内 女性1名(第39週)  
塩釜管内 女性1名(第40週)  
仙台管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

石巻管内 女性1名(O157)  
塩釜管内 女性1名(O157, 第39週)  
塩釜管内 女児2名\*(O26, 第40週, 第41週)

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙南管内 女性1名(第40週, *S.marcescens*)  
男性1名(*E.cloacae*)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

大崎管内 男性1名(第40週)

後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名

侵袭性肺炎球菌感染症

仙台管内 男児1名\*

梅毒

塩釜管内 男性1名(第40週)

仙台管内 男性1名(第40週)

指定感染症: 新型コロナウイルス感染症

塩釜管内 男性2名, 女性4名  
仙台管内 男性2名, 女性2名(第36週)  
男性2名, 女性3名, 女児2名\*(第37週)  
男性1名, 女性1名(第38週)  
男性1名, 女性4名(第39週)  
女性1名(第40週)

※男児, 女児は6才未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内のO26関連 第40週採取分 O26 11件  
第40週採取分 O型不明 2件  
第41週採取分 O26 2件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	確 定 中 間 報 告		
	第38週採取分 (9.14~9.20)	第39週採取分 (9.21~9.27)	第40週採取分 (9.28~10.4)
アデノウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件

## 4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、県内では塩釜及び石巻管内で報告があり、特に塩釜管内の事例では、O26の保育施設での集団感染がありました。主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では、溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあるため注意が必要です。汚染された食物を摂取することで感染するほか、患者の便の中に排出された細菌を、手指や水などを介して摂取することで感染することがあります(家族内感染等)。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

【新型コロナウイルス感染症】

県内の感染者数は10月14日現在の累計で504例となり、感染者の発生が続いています。この感染症は、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ(倦怠感)や味覚・嗅覚障害を訴える人が多いと報告されています。引き続き人と人の距離の確保、手洗いなどの手指衛生、マスクの着用、3密(密閉・密集・密接)を避けるなどの基本的な感染対策を心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

